



方言ステレオタイプの反映の程度

0313038 松木葵
0313061 勝股祐佳

5.1.目的

都道府県擬人化漫画とそうでない漫画（方言をテーマにしていない漫画）それぞれにおいてキャラクターへの方言ステレオタイプの反映の程度を調査し、それぞれの結果を比較して、作品ジャンルの違いによる相違点などはないか調べる。

5.2.調査概要

5.2.1.調査対象の抽出方法

「方言 漫画」をYahoo検索で調べ、一番上に表示された「方言キャラクターの一覧とは」のページにおいて、キャラクター数が特に多いと感じた『南国少年バブワくん』と『テニスの王子様』を選択した。『テニスの王子様』は刊行巻数が多いため、その続編で刊行巻数の少ない『新テニスの王子様』を最終的には調査対象とした。調査対象作品は表1の通りである。

表1.調査対象作品

作品名	作者	作者出身地	掲載雑誌	連載年	ジャンル
ジャポニズム 47	青色イリコ	埼玉県	クロフネZERO	2010年～連載中	都道府県擬人化
うちのトコでは	もぐら	愛媛県	ネット漫画	不明	都道府県擬人化
南国少年バブワくん	柴田亜美	長崎県	月刊少年ガンガン	1991年～1995年	ギャグ
新・テニスの王子様	許斐剛	大阪府	ジャンプSQ	2009年～連載中	スポーツ

5.2.2.分析方法

- ①調査対象漫画の中から、関東以外の地方出身者に限定してキャラクターをピックアップし、その調査対象キャラクターが最も多く登場する3巻分を読む。
- ②キャラクターごとに総吹き出し数と、その中で方言を使用している吹き出し数をカウントする。その結果をもとに方言使用率を算出する。
- ③キャラクターが持つ方言イメージの調査をする。程度が強い順に、◎、○、△、×を当てはめる。
- ④方言ステレオタイプについて、田中ゆかり（2011）の方言イメージ調査の結果と比較する。
- ⑤都道府県擬人化漫画と比較対象漫画のそれぞれの結果を比較し、その結果について考察する。

→ 5.3.都道府県擬人化漫画（松木葵）

→ 5.4.比較対象漫画（勝股祐佳）

5.5.比較結果

都道府県擬人化漫画よりも比較対象（方言をテーマにしていない）漫画の方が方言ステレオタイプに当てはまる項目が多く、程度も強い傾向にあった。都道府県擬人化漫画は県民性を重視した漫画なので、よりリアルな県民像を描き出している。そのため、方言ステレオタイプと合致しないのは必然的である。方言をテーマにしていない漫画は、キャラクターを際立たせるために方言を効果的に使用しているので、方言ステレオタイプが強く反映されている。

引用文献リスト

- ・佐藤和之・米田正人（1999）『どうなる日本の言葉』大修館書店
- ・田中ゆかり（2011）『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで』岩波書店
- ・田中ゆかり（2012）『「イメージ語から見た方言ステレオタイプ:山形県三川町調査・首都圏大学生調査・全国方言意識調査から」』『語文』第142号 p106-92 日本大学国文学会

参考サイトリスト

- ・方言キャラクターの一覧とは（2015.1.19現在）
<http://dic.nicovideo.jp/a/方言キャラクターの一覧>